



自然環境の復元・創造に関わるフィールドから政策まで幅広く研究をしています

都市緑化

- ピオトープ・パッケージの効果と今後の課題—東京都市大学横浜キャンパスをケーススタディとして—
- コケ植物による都市緑化の現状と課題—東京都市大学横浜キャンパス中庭ピオトープ・パッケージをケーススタディとして—
- ハーブの踏圧に関する耐性の研究
- 香りを感じる都市緑化とハーブの植物材料を利用した製品の研究開発—キャンパス階段地における「香りの芝生」をケーススタディとして—
- 香りと花で楽しむ壁面緑化の提案—バラ属植物を用いた垂直緑化の実験を通して—

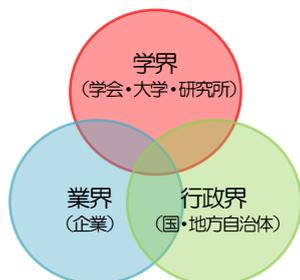
政策

- 国際社会における生物多様性オフセットおよび生物多様性バンキング政策の現状に関する研究
- 日本の生物多様性オフセット関連施策の現状と課題—BBOP の生物多様性オフセットに着目して—
- オセアニアにおける生物多様性オフセットに関する研究
- 米国におけるIn-lieu-feeプログラムの現状と日本適用の可能性
- 里山保全のための経済的手法「里山バンク」に関する研究

評価手法

- 環境アセスメントにおける複数案評価の研究—生物多様性分野のHEP 適用を例にとって—
- HEP のHSI モデルを用いた簡易的生物多様性評価ツール「HSI カルテ」の作成
- GIS を用いたHEP の解析手法の開発—横浜市上郷開発事業をケーススタディとして—
- HEP を応用した屋上緑化の評価手法の開発—生物多様性保全に着目して—
- ダム撤去を対象とした HEP による評価手法の研究
- 都市域の企業緑地を対象とした生物多様性評価手法の動向

実社会との連携



本研究室では生態系保全のため、学界・行政界・業界という3つのGとの連携を重視し「研究のための研究」ではなく「実社会で使える研究」を目指しています。

- ◆学 界：環境アセスメント学会、造園学会などの学会において、研究発表を行っています。また他大学とも共同研究を行っています。
- ◆業 界：企業と共同で研究を行い、双方の利益となる研究を行っています。
- ◆行政界：国や地方自治体との勉強会を通して、地域の生物多様性を保全するための政策を考えます。



学生の言葉

 環境アセスメント制度に興味があり田中研究室に入りました。配属後はHEP (ハビタット評価手続き) を下田高校の学生との共同研究で応用することから始め、生態系評価を行う上で必要な知識や感覚を身に付けました。卒業研究では、流域をサービスエリアとした生物多様性バンキングに関する研究を行っています。
学部4年 川村 昂史

 田中研究室に入って持続可能な社会の実現に向けて近道となる環境アセスメント制度について研究しています。中でも田中先生に教わった生物多様性オフセットは生態学の知識も必要となる分野であり、興味深く研究しています。
学部4年 松嶋 宏晃

 都市緑化に興味があり田中研究室に入りました。生物多様性の概念を取り入れた、人間にとっても心地よく、生物の生息地としての役割も果たすような都市緑化を目指し、人間と生物など、様々な視点からの研究を行っています。
学部4年 川村 尚弥

 室内緑化に興味があり、田中研究室に入りました。伊豆大島の自然資源である火山礫を植物生育の基盤として用いて、室内インテリア商品開発の研究を行っています。より良い商品の開発を行うため、日々努力して研究を行いたいと考えています。
学部4年 柏木 優希乃

主な就職先

環境分野	ランドスケープ分野	一般企業	公務員・公益法人
<ul style="list-style-type: none"> ■ EA インターナショナル ■ (株) オオバ ■ 国際航業(株) ■ 大成建設(株) ■ 大日本コンサルタンツ(株) ■ 八千代エンジニアリング(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (株) 石勝エクステリア ■ (株) グリーン・ワイズ ■ 積和建設(株) ■ 東急建設(株) ■ (株) 日本総計 ■ (株) 日比谷アメニス ■ (株) フジタ ■ 三井住友建設(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (株) イオン ■ 伊藤忠エクネクス(株) ■ 東急リハビル(株) ■ 凸版印刷(株) ■ 日本航空(株) ■ 丸西産業(株) ■ ミサワホーム(株) ■ 三井不動産(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般財団法人 公園財団 ■ 神奈川県 ■ 環境再生保全機構 ■ 公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン ■ 横浜市

田中研究室の受賞歴

- ◆第9回東急環境賞努力賞
「下田市でのアカウミガメ産卵地保全と利用に関する取り組み」
- ◆第10回神奈川産学チャレンジプログラム優秀賞
「ハーブを用いた室内緑化の提案」
- ◆神奈川ビジネスオーティション JEA 賞
「ピオトープ・パッケージ」「生物多様性バンキング」
- ◆日本造園学会 堂面第二公園学生公開アイデアコンペ 最優秀賞受賞



田中章教授の紹介

東京都市大学環境学部環境創生学科教授
博士(農学) Master of Landscape Architecture

学歴

- ◆東京大学大学院 農学生命科学研究科 生産環境生物学専攻博士課程修了
- ◆University of Michigan, Ann Arbor, Horace H. Rackham School of Graduate Studies, School of Natural Resources, MLA Course 修了, Master of Landscape Architecture
- ◆東京農工大学 農学部 環境保護学科卒

主な著書

- ◆「서식지 생태영향평가 방법론」(2015年) (単著)
- ◆「HEP 入門 (新装版) -ハビタット評価手続き-」(2012年) (単著)
- ◆「BLUE EARTH COLLEGE ようこそ「経済大学」へ。」(2015年) (共著)
- ◆「環境アセスメント学の基礎」(2013年) (共著)
- ◆「地球温暖化とグリーン経済」(2012年) (共著)
- ◆「野生生物保全技術 第2版」(2007年) (共著)
- ◆「環境と資源の安全保障 47の提言」(2003年) (共著)

職歴

- ◆東京都市大学環境学部環境創生学科教授(現職)
- ◆英国国立ウェールズ大学大学院日本プログラム 環境マネジメント学科学科長環境アセスメントコース
- ◆(社) 海外環境協力センター
- ◆(株) 野村総合研究所
- ◆(株) バシフィック・コンサルタンツ

趣味・モットー

趣味：旅、読書、音楽、園芸、カヌー、釣り、磯遊び、沢登り、スノボ、ステンドグラス
モットー：「よく遊び、よく学び、never give up」



田中 章教授